

国鉄クモヤ495系 JR東海クモヤ193系50番台

- 完成品 -



※画像はイメージです。
実際の仕様とは異なる場合がございます。

国鉄クモヤ495系は交直両用の架線試験車で1966年に製造されました。急行型電車の車体をベースにしていますが、裾絞りが無く低屋根となっており、非貫通の曲面三枚窓の前面と合わせて他に類を見ない独特な外観が特徴です。国鉄民营化後はJR東海へ引き継がれて交流用機器を撤去、直流専用機としてクモヤ193系50番台に形式変更され1998年まで活躍しました。

今回エンドウではこのクモヤ495系・クモヤ193系50番台を製品化いたします。

国鉄時代の交直両用時代の姿に加えて、JRへ継承直後の交直色を残していた時代の姿と、青色に警戒色の黄色が映える晩年の姿の3種類をご用意いたします。

2024年9月発売予定

ES0621	国鉄クモヤ 495 系 2両セット	…税込 396,000 円 (本体価格 360,000 円)
ES0631	JR 東海クモヤ 193 系 50 番台 交直色 2両セット	…税込 396,000 円 (本体価格 360,000 円)
ES0641	JR 東海クモヤ 193 系 50 番台 青塗装 2両セット	…税込 396,000 円 (本体価格 360,000 円)

■ 製品仕様 ■

- ・主に真鍮素材を使用して製作
- ・車体は真鍮プレス加工にて製作 ・床下機器類はホワイトメタル + ロストワックス製
- 【前照灯・尾灯】点灯 【パンタグラフ】PS-16B(IMON製)・検測パンタグラフ(IMON製)
- 【連結器】先頭部：ナックルカプラー(国鉄)・双頭連結器(JR)/中間部：エンドウ伸縮カプラー
- 【台車】DT-37X(新規作成)
- 【動力】13mm コアレスモーター + Φ10.5mm 黒色車輪 + WB26mmMPギヤ搭載
- 【その他】ワイパー取付済み・車番印刷済

※製品の仕様、予価は予告無く変更する場合がございます。

※JR東海承認済 ※画像：ウィキメディア・コモンズ